

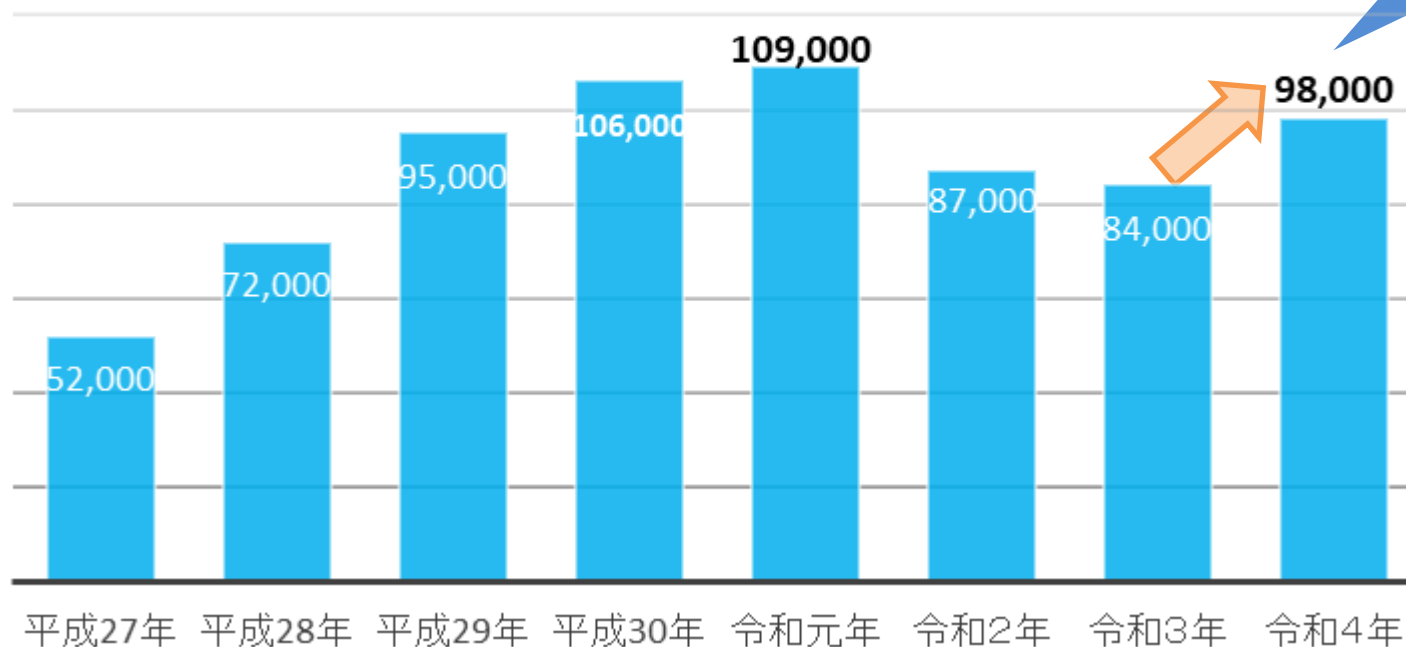
令和5年(2023年)12月19日
商工観光労働部観光振興局
土木交通部道路保全課

ビワイチの 取組状況について



1. 現状と課題(体験者数の推移)

琵琶湖一周サイクリング体験者数(推計値)
(人)

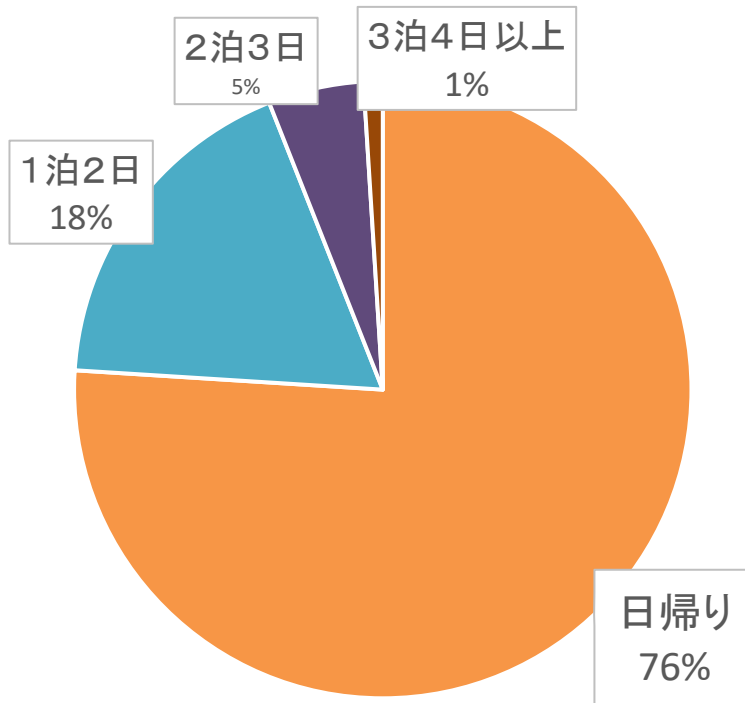


令和4年は前年比1万4千人増(16.7%増)で、3年ぶりの増加となった。
一方で、経済波及効果は前年比0.4億円増(4.6%増)の9.1億円にとどまった。

1. 現状と課題(旅行日程)

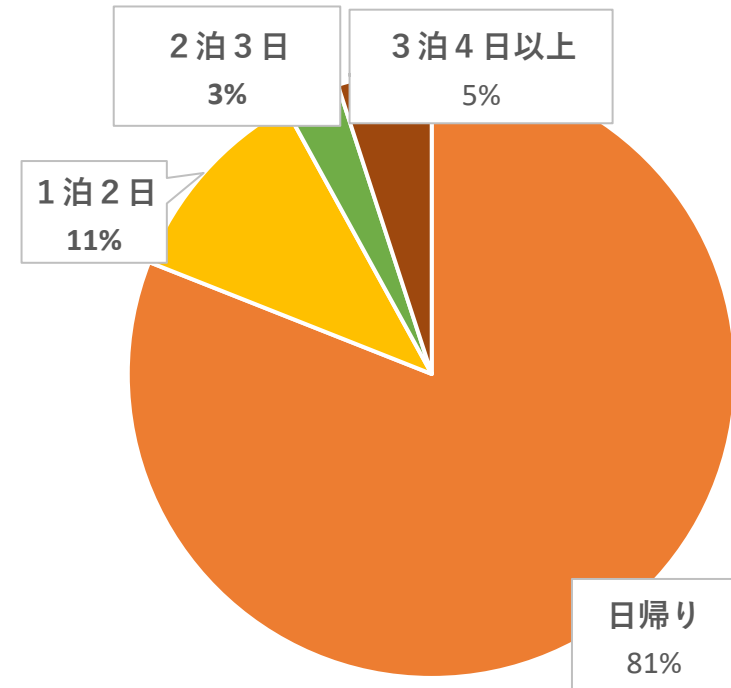
令和3年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 288人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査



令和4年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 319人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査



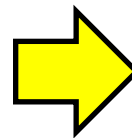
日帰り体験の割合が増加
(R3) 76% ⇒ (R4) 81%

1. 現状と課題(居住地)

令和3年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 334人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査

地方	都道府県	人数	割合
県内	滋賀県	132	39.5%
近畿地方	大阪府	36	10.8%
	京都府	18	5.4%
	奈良県	13	3.9%
	兵庫県	12	3.6%
	和歌山県	1	0.3%
中部地方	愛知県	25	7.5%
	岐阜県	10	3.0%
	三重県	9	2.7%
関東地方	東京都	7	2.1%
	神奈川県	5	1.5%
	群馬県	1	0.3%
北陸地方	福井県	5	1.5%
	石川県	2	0.6%
	富山県	1	0.3%
中国地方	岡山県	1	0.3%
	広島県	1	0.3%
九州	長崎県	2	0.6%
北海道	北海道	1	0.3%
	未回答	52	15.6%
計		334	



令和4年

ビワイチ体験者アンケート回答者数 319人
「ビワイチサイクリングナビ」アプリの利用者による調査

地方	都道府県	人数	割合
滋賀県		172	53.9%
その他 近畿地方	大阪府	22	6.9%
	京都府	21	6.6%
	兵庫県	11	3.4%
	奈良県	8	2.5%
中部地方	愛知県	8	2.5%
	岐阜県	11	3.4%
	三重県	4	1.3%
	長野県	2	0.6%
関東地方	静岡県	2	0.6%
	神奈川県	2	0.6%
	茨城県	2	0.6%
	東京都	1	0.3%
北陸地方	埼玉県	1	0.3%
	栃木県	1	0.3%
	福井県	4	1.3%
中国地方	石川県	2	0.6%
	富山県	2	0.6%
中国地方	岡山県	0	0.0%
	広島県	1	0.3%
北海道		16	5.0%
未回答		26	8.2%
計		319	

- ・県内の割合が増加している。(R3) 39.5% ⇒ (R4) 53.9%
- ・県外では、滋賀から近い近畿地方や隣接府県からの割合が高い。

1. 現状と課題(アプリ利用者)

ビワイチサイクリングナビアプリは、自転車で滋賀県内の周遊をサポートするアプリで、ルートプランニングやナビゲーション、観光ガイドの機能を提供(平成30年度開始)。
 アプリ利用者のうち、女性の利用割合が17%。

アプリ開始時期

H30年度開始

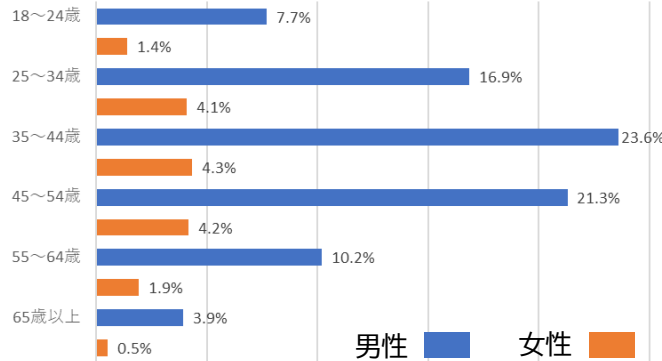
ダウンロード数

59,625件(R5.10)

GPSデータによる走行軌跡

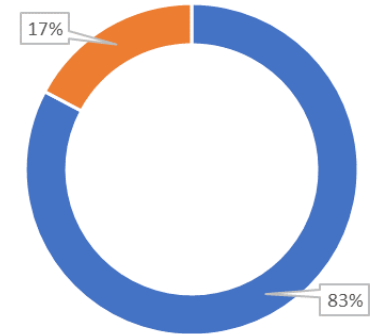
利用年齢層

(令和5年1月～11月23日)

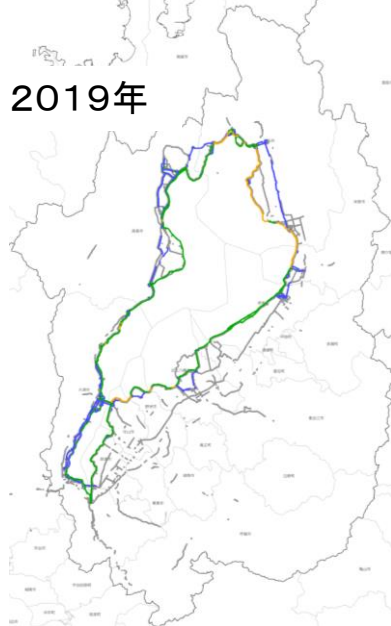


性別構成

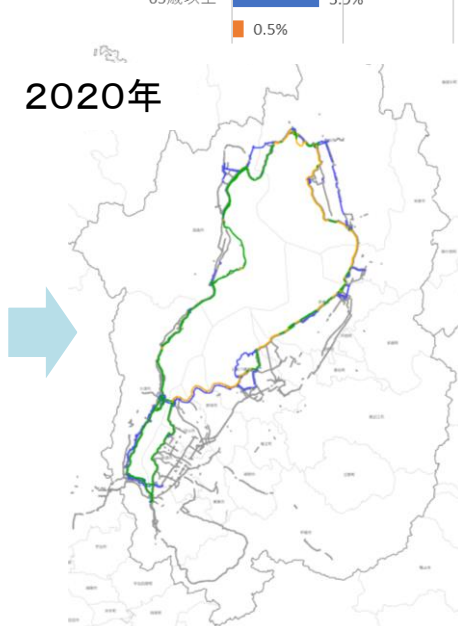
(令和5年1月～11月23日)



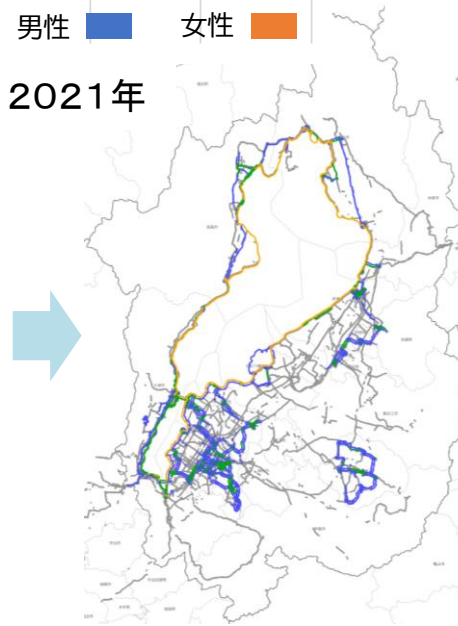
2019年



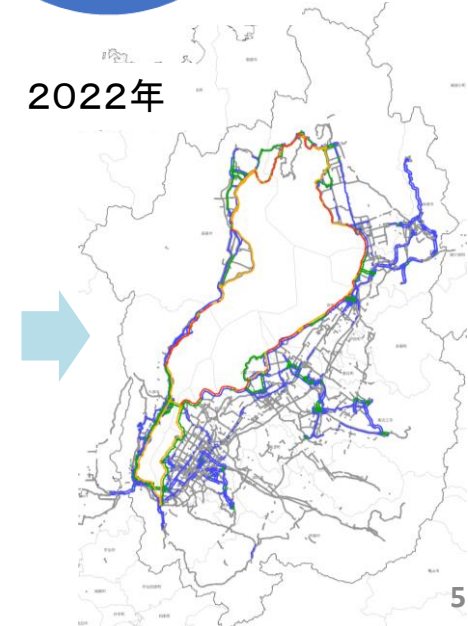
2020年



2021年



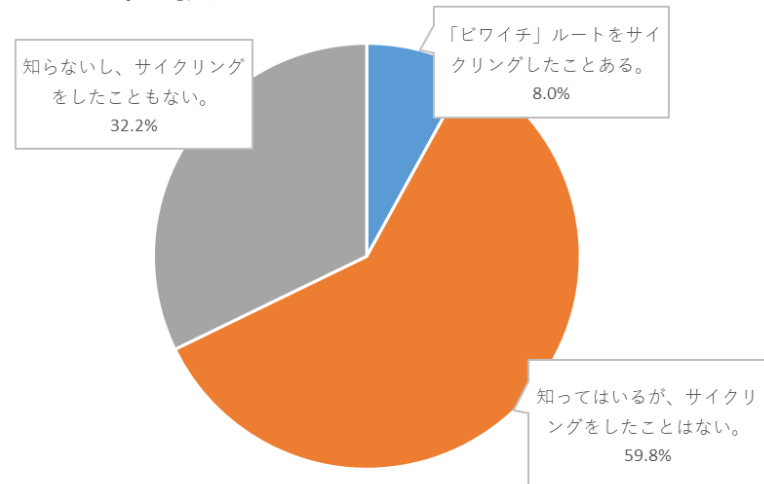
2022年



1.現状と課題(認知度)

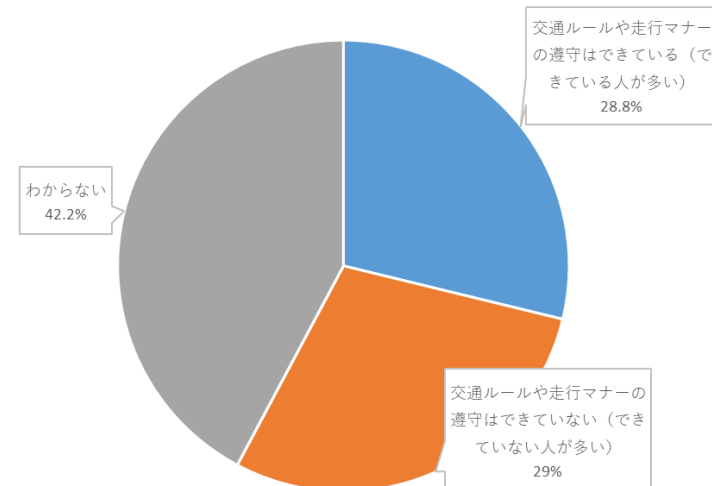
琵琶湖一周「ビワイチ」ルートでのサイクリング経験について

項目	人数 (人)	割合 (%)
「ビワイチ」ルートでサイクリングしたことがある	40	8.0%
知っているが、サイクリングをしたことはない	299	59.8%
知らないし、サイクリングをしたこともない	161	32.2%
合計	500	100%



滋賀県内でサイクリングをしている人の交通ルール遵守や走行マナーに対する印象

項目	人数 (人)	割合 (%)
交通ルールや走行マナーの遵守はできている (できている人が多い)	144	28.8%
交通ルールや走行マナーの遵守はできていない (できていない人が多い)	145	29.0%
わからない	211	42.2%
合計	500	100%



1.現状と課題(「ビワイチ・プラス」ルート)

「ビワイチ・プラス」ルート

県内各地の観光地、景勝地等の観光資源を自転車で周遊するもので、県内全市町を經由する11ルート(総距離635Km)を設定(令和元年12月)



1.現状と課題(施策の展開)

主な課題

- ・経済波及効果(宿泊など観光消費)の拡大を促すサークルツーリズムの展開
- ・子どもや女性など誰もが楽しめる周遊観光の魅力創出
- ・サイクリストのマナーの向上



施策の内容

ビワイチ推進条例に基づき、誰もが楽しめるビワイチを目指し、以下の4つの柱のもと施策を展開

①魅力向上と創出

観光資源の磨き上げや新たな観光コンテンツの創出、サイクリストと地域住民の相互理解のためのマナー向上に取り組む。

②受入環境整備

より良い走行環境を整備するため、ハード・ソフト両面から取組を進める。

③魅力発信

「ビワイチ」を多くの人に注目してもらえるよう、国内外に向けてのプロモーションに取り組む。

④推進体制強化

効果的な取組を推進するため、ビワイチ推進関係の体制強化を図る。

2. ビワイチ施策の推進について

ビワイチ推進条例の制定(令和4年3月)

滋賀が誇る観光資源であるビワイチの魅力を高め、本県の観光の振興および活力ある地域社会の実現に寄与することを目的とする条例。(令和4年4月に施行)

「ビワイチの日」および「ビワイチ週間」の設定(条例第20条)

県民、ビワイチ関係事業者、ビワイチ推進関係団体等の中に広くビワイチについての関心と理解を深めるとともに、ビワイチへの意欲を高め、愛着と誇りを育むため、ビワイチの日(11/3)およびビワイチ週間(11/3~11/9)を設ける。

ビワイチ推進基本方針の策定(条例第11条)

条例の基本理念の実現に向け、ビワイチ推進施策を総合的かつ計画的に推進するため策定。(令和4年11月)

地域を代表する観光ブランドの一つとして「ビワイチ」の取組を加速化し、国をはじめ市町、県民、関係事業者・団体等の多様な主体とこれまで以上に連携しながら、本県の観光の振興を図り、活力ある地域づくりを進めるとともに、世界から選ばれるサイクルツーリズムの展開を目指し、県民の皆様とともに取組を進める。



3.魅力向上と創出(「ビワイチの日」「ビワイチ週間」)



「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の取組

「ビワイチの日」(11月3日)および「ビワイチ週間」(11月3日から11月9日)を設け、市町・関係団体と連携し、この趣旨にふさわしい取組を展開。



記念ライド

エイドステーション

令和5年度のエイドステーション来場者実績 (1日あたり 約737人)

	11月3日(金)	11月4日(土)	11月5日(日)	合計
ピエリ守山(守山市)	207人	143人	101人	451人
南三ツ谷公園(彦根市)	352人	255人	93人	700人
道の駅湖北みずどりステーション(長浜市)	204人	122人	52人	378人
STAGEX高島(高島市)	212人	327人	144人	683人
合計	975人	847人	390人	2,212人

3.魅力向上と創出(「ビワイチの日」「ビワイチ週間」)

「ビワイチの日」「ビワイチ週間」の取組

市町との連携

各市町で実施されるイベントのうち、ビワイチ週間に合わせ実施されるものや、共催で実施するイベントについて、ビワイチの日の広報物の中で、併せて発信。

関係団体との連携

ビワイチ週間に合わせて、サイクルサポートステーションや「滋賀県サイクリストにやさしい宿」の事業者が参加者に向け、各種おもてなしを実施。



3. 魅力向上と創出(ビワイチ商品)

「ビワイチ商品」の開発支援

ビワイチのロゴマークを使用した商品の開発を支援することにより、県内各地でビワイチの記念やお土産の販売につなげている。

ビワイチパン



ビワイチコーヒー



ビワイチ記念タオル



ビワイチようかん



ビワイチハンカチ



3. 魅力向上と創出(子どものビワイチ体験)

子どものビワイチ体験の促進

自転車の試乗体験会の定期的な開催や、子ども向けビワイチ体験ツアーの実施など、ビワイチ体験を促進。

希望が丘文化公園における試乗体験



様々なタイプの自転車を親子で体験



子ども向け乗り方教室

子ども向けサイクリング体験ツアー



「ビワイチの日」(11/3)に、子ども向けのサイクリング体験ツアーを実施。

3. 魅力向上と創出(観光資源の活用)

県内各地の魅力ある観光資源を活用したデジタルスタンプラリー、サイクリングマイレージ等の実施により、身近な地域における自転車散策を推進。

デジタルスタンプラリー



【長浜市】

期 間:令和5年10月21日～11月20日

参加者 **91人** (うち、景品応募者数 59人)

主催:長浜観光協会、滋賀プラス・サイクル推進協議会



【高島市】

期 間:令和5年10月21日～11月20日

参加者 **161人** (うち、景品応募者数 127人)

主催:びわ湖高島観光協会、滋賀プラス・サイクル推進協議会



過年度実施エリア:彦根市、草津市、守山市、栗東市、野洲市、東近江市、米原市、日野町、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

ビワイチサイクリングマイレージ

走行距離や地点到達によりポイントを貯め、貯めたポイントを使って景品に応募することができる機能。

【第1期】

期 間:令和4年10月24日～令和5年3月1日

参加者 **315人** (うち、景品応募者数 137人)

【第2期】

期 間:令和5年3月2日～令和6年3月3日

※ 現在実施中

3. 魅力向上と創出(安全な利用に関する取組)

地域住民や歩行者、サイクリストの安全を確保するため、交通事故防止に向けた自転車の安全な利用の啓発等の実施。

マナー向上への啓発

啓発資材を作成し、警察署と連携して県内各地で実施する街頭啓発において配付するなど安全な利用に向けた取組を実施。

ビワイチマインド3つの『こ』
各々の心がけで、地域も来訪者もみんなが楽しく



こうどうで示そう、
こゆずりあい 【共有】

車や歩行者とゆずりあいながら
ルールを守り走ります。
住宅の近くはゆっくり走ります。



ことばで示そう、
ここんにちは 【交流】

仲間で声を掛け合って走ります。
人や他の自転車の近くを
通る時はあいさつします。



こころにゆとりと
こ楽しみを 【発見】

見どころや美味しいものを
楽しみながら、
余裕を持った日程で走ります。

サイクリストの心がけ



© 原田 尚 / 講談社

様々な媒体を活用



4. 受入環境整備(拠点施設等の整備)

魅力ある観光地を形成するため、サイクルサポートステーションや「滋賀県サイクリストにやさしい宿」などの拠点施設の整備を促進。

サイクリストが安全・快適にサイクリングできるように、途中返却拠点の増加など、利用しやすいレンタサイクル環境の整備を促進。

サイクルサポートステーション

トイレの利用やスポーツバイクに対応した空気ポンプ・工具の貸し出しサービスなどを提供する拠点。(令和5年11月末現在 368か所)



「滋賀県サイクリストにやさしい宿」

自転車の客室への持ち込み、または屋内の安全な場所における保管などの要件を満たした宿泊施設。(令和5年11月末現在 53施設)



広域のレンタサイクル途中返却制度の運用

米原駅サイクルステーションに加え、新たに、大津港サイクルステーション(令和5年11月開始)において、広域の途中返却サービスを実施。



4. 受入環境整備(道路環境の整備)

ルート設定の考え方

○初級・中級者(家族連れなど)と、上級者(サイクリスト)の両者を対象に2つのルートを設定

- ・「低速コース」 : 自転車歩行者専用道路、交通量の少ない車道などの組合せ
(初級・中級者向け)
- ・「上級コース」 : 自転車通行帯など、原則車道のみ
(上級者向け) ※ 生活道路を避けたルート設定

○令和元年11月、「低速コース」がナショナルサイクルルートに指定

「低速コース」(ナショナルサイクルルート)



自転車歩行者専用道路
(交通量の多い車道(10,000台以上/日))



青破線と青矢羽による自転車通行空間の明示
(交通量の少ない車道(10,000台未満/日))

「上級コース」

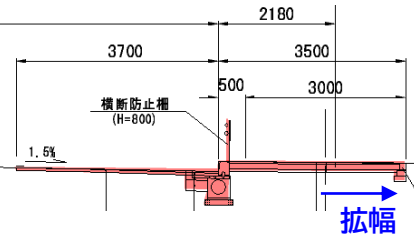


自転車通行帯
(原則車道のみ)

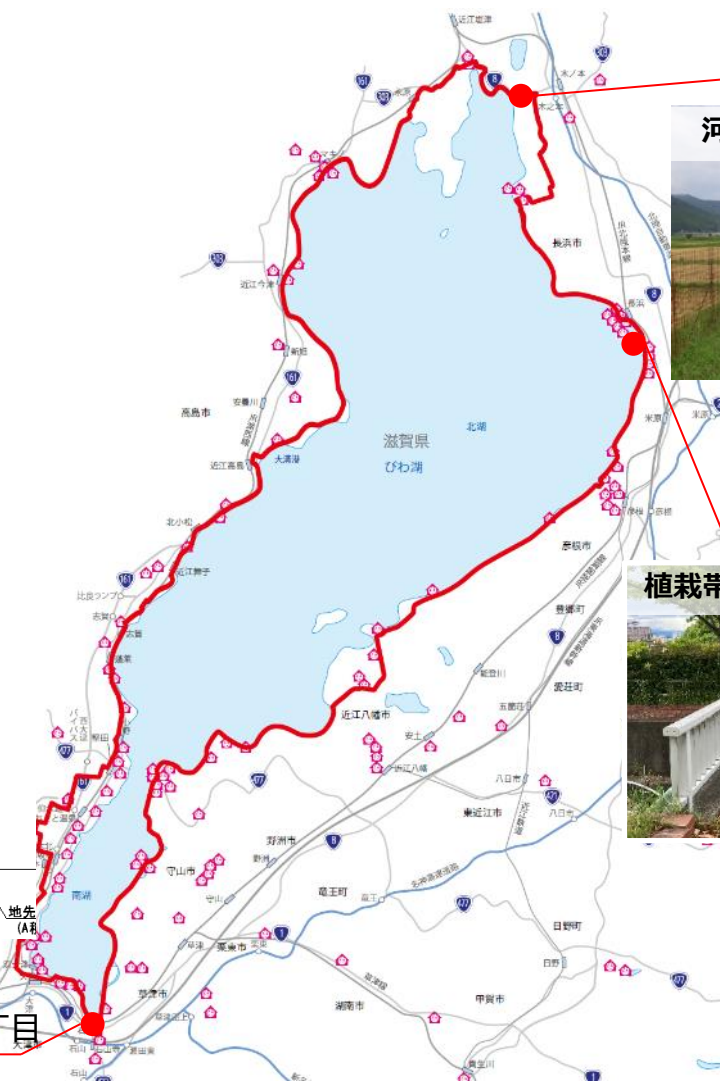
4. 受入環境整備(道路環境の整備)

「低速コース」(ナショナルサイクルルート) 整備事例 自転車歩行者専用道路

○植栽帯スペースや、公園などのインフラ施設用地を活用し、歩道等を拡幅



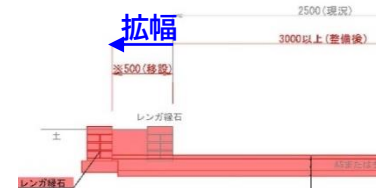
①近江八幡大津線 大津市玉野浦～大萱六丁目



③余呉川右岸河川管理用道路 長浜市木之本町



②大津能登川長浜線 長浜市平方町



4. 受入環境整備(道路環境の整備)

「上級コース」整備事例 自転車通行帯

○植栽帯スペースを活用し、路肩を拡幅

①近江八幡大津線 草津市北山田町



③大津能登川長浜線 長浜市平方町



②近江八幡大津線 近江八幡市牧町



植栽帯スペースを活用

4. 受入環境整備(道路環境の整備)

各コースの整備状況

「低速コース」(ナショナルサイクルルート) 全長196km

- ・全線 **令和4年度整備完了**
- ・主な整備: 自転車歩行者専用道路、青破線・青矢羽根



低速コース
(自転車歩行者専用道路)



【凡例】
— : 整備済区間

「上級コース」 全長187km

- ・青破線・青矢羽根は全線整備済
- ・自転車通行帯整備 目標延長: 32km(令和8年度末)
整備済 : 16km(令和4年度末)



上級コース
(自転車通行帯)

○各エリア延長内訳 (km)

エリア	目標整備延長	整備済延長
①	0.8	0.8
②	13.6	7.4
③	1	1
④	10	5.4
⑤	6.4	1.3
計	31.8	15.9



【凡例】
— : 整備済区間
— : 整備済区間

4. 受入環境整備(道路環境の整備)

案内看板・路面表示の整備

○整備内容

- ・ルート全線で青破線の路面表示によるルート案内を実施
- ・主要交差点や分岐点で案内する看板・路面表示を設置
- ・観光地や休憩所など主要施設までの距離を示す案内を一定間隔で設置
- ・距離標は終点までの距離を5kmごとに設置
- ・看板や路面表示は日英2か国語表記やピクトグラム化



分岐点看板



分岐点路面表示



主要目的地案内



距離標

4. 受入環境整備(道路環境の整備)

利用者等への注意喚起

- トンネル・橋梁部・急勾配箇所などで注意喚起
- 集落内生活道路や農道など必要な箇所で注意喚起



- ルートマップ、ホームページなどで注意喚起



ルートマップ



ホームページ

4. 受入環境整備(道路環境の整備)

県管理道路以外の整備

○直轄国道や市道の管理者に整備を要請

①国道161号(高島市鵜川:白鬚神社周辺)



②大津市道(大津市浜大津四丁目:大津港周辺)



適切な維持管理

○日常パトロールに加え、自転車によるパトロールを年2回実施

○舗装の段差、枝の張り出しなど危険な箇所を速やかに補修

自転車によるパトロール



日常管理



5. 魅力発信(国内外に向けた継続的な発信)



BIWAICHI
ビワイチ

ナショナルサイクルルート「ビワイチ」、気軽に地域に立ち寄りながらサイクリングを楽しむ「ビワイチ・プラス」を国内外に向けてプロモーションに取り組み、誘客につなげる。

国内における魅力発信

日本最大級の自転車展示会「サイクルモード東京」等の機会を活用した魅力発信



「サイクルモード東京」

国外における魅力発信

オーストリアや台湾等の旅行博において魅力を発信し、インバウンド誘客を促進



「大台南国際旅行博覧会」

「フェリエンメッセ（ウィーン）」

6. 推進体制強化



BIWAICHI
ビワイチ

効果的な取組を推進するため、ビワイチ推進関係の体制強化を図ります。

官民連携プラットフォームの活用

ビワイチ推進施策は、国、市町、関係事業者、関係団体との連携・協力が不可欠であるため、プラットフォーム機能を担っている「滋賀プラス・サイクル推進協議会」による取組を活性化。

国内外の自治体との連携

ナショナルサイクルルートが所在する自治体との連携や、海外自治体との交流を通じた魅力発信により、国内外からの誘客を促進。



ナショナルサイクルルート・オンライン
ミーティング (R4.10)



オーストリア・ブルゲンラント州
との覚書締結 (R5.11)



台南市とサイクルツーリズムに
関する覚書締結 (R5.11)



福井県と連携した魅力発信事業 (R5.5.16)